

安全データシート

改訂日：2024年3月8日

1. 製品及び会社情報

化学品の名称	塩化ストロンチウム六水和物
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555 (大阪・本社) (03)3246-2311 (東京) (0268)22-5910 (上田) (052)504-2221 (名古屋) (082)537-0290 (広島)
整理番号	AD0612

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性 生殖細胞変異原性：区分2
*記載のないものは「分類対象外」, 「分類できない」または「区分外」。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

注意書き

警告

遺伝性疾患のおそれの疑い

【安全対策】

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

適切な個人用保護具を使用すること。

【応急措置】

ばく露またはばく露の懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

他の危険有害性

該当情報なし。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別

化学名又は一般名

化学式

CAS RN

含有量

官報公示整理番号(化審法/安衛法)

GHS分類に寄与する不純物及び安定化化合物

その他

化学物質

塩化ストロンチウム六水和物

 $SrCl_2 \cdot 6H_2O$

10025-70-4

98%以上

(1)-261 / 公表

該当情報なし。

HSコード：2827.39

4. 応急措置

吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

皮膚に付着した場合

多量の水と石鹼で洗うこと。

皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

直ちに医師の診断を受けること。

飲込んだ場合

口をすすぐこと。

直ちに医師の診断を受けること。

予測できる急性症状及び遅発性症状

該当情報なし。

応急処置をするものの保護

該当情報なし。

医師に対する特別な注意事項

該当情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤	不燃性である。周辺の状況や火災の状況に応じて適切な消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	該当情報なし。
特有の危険有害性	火災時に、刺激性あるいは有毒なフュームやガスを放出するおそれがある。
特有の消火方法	消火活動は風上から行う。 火災場所の周辺には関係者以外の立ち入りを規制する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。不可能な場合は周辺に水をかけ冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。
環境に対する注意事項	河川等へ排出され環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉塵の立たない方法で出来るだけ掃き集め、空容器等に回収する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策（局所排気、全体換気等）	全体換気装置、局所排気装置を設置する。
安全取扱注意事項	洗眼器と安全シャワーを設置する。 吸い込んだり、眼、皮膚および衣類に触れないように適切な保護具を着用する。 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な扱いをしない。
接触回避	日光、熱
衛生対策	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。
保管	
安全な保管条件	換気のよい涼しい場所に密封して保管する。
容器包装材料	ガラス、ポリエチレン
8. ばく露防止及び保護措置	
管理濃度	未設定
許容濃度	
日本産業衛生学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	防塵マスクを着用する。
手の保護具	ゴム手袋を着用する。
目の保護具	保護眼鏡やゴーグルを着用する。
皮膚及び身体の保護具	保護衣、保護エプロン等を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶又は結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
融点・凝固点	61℃（急速加熱）
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	不燃性
爆発下限界及び上限界/可燃限界	不燃性
引火点	不燃性
自然発火点	不燃性
分解温度	100℃で5H ₂ Oを失い、150℃で無水物になる。無水物は868℃で溶ける。
pH	5~7（50g/L, 25℃）
動粘性率	該当情報なし。
溶解度	水に極めて溶けやすく、エタノールにやや溶けやすい。
n-オクタノール/水分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
密度及び/又は相対密度	1.933
相対ガス密度	該当情報なし。

粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性	該当情報なし。
避けるべき条件	光、熱、湿気
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	塩化水素、ストロンチウム酸化物
11. 有害性情報（無水物として）	
急性毒性	経口：ラットのLD ₅₀ 値 2250 mg/kg（GICAD 77（2010））に基づきJIS分類基準の区分外（国連分類基準の区分5）とした。
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	データなし。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	データなし。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データなし。
生殖細胞変異原性	マウスの経口投与による骨髓細胞を用いた染色体異常試験（体細胞 <i>in vivo</i> 変異原性試験）において陽性の結果（ATSDR（2004））に基づき区分2とした。なお、 <i>in vitro</i> 変異原性試験として、チャイニーズハムスター卵母細胞を用いた染色体異常試験では陰性（GICAD 77（2010））の報告がある。
発がん性	データ不足。なお、限定的な試験であるが、雄ラットに用いた3年間飲水投与した試験においてばく露に起因する腫瘍発生の報告はない（GICAD 77（2010））。
生殖毒性	ラットの三世代にわたり経口（飲水）投与した試験において、生殖に及ぼす影響は認められなかった（GICAD 77（2010））と報告されているが、受胎能への影響を評価するには提供された情報では不十分である（GICAD 77（2010））と記載されている。したがって、データ不足により「分類できない」とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	データなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	ラットまたはマウスの混餌または飲水投与による複数の試験において、主要な所見は骨に対する影響であり、骨鉱化作用の増強、石灰化低下を伴う類骨の過剰肥厚を示し、成長抑制、骨端成長板の異常肥厚・肥大、骨幹端の石灰化障害と吸収などの影響が報告されている（IRIS（2002））が、いずれもガイダンス値範囲を超えた高用量の所見である。ラットの9週間飲水投与試験のNOAELはストロンチウムとして525 mg/kg（塩化ストロンチウムとしての90日換算値：658 mg/kg/day）であり（IRIS（2002））、また、ラットの3か月飲水投与試験では、ガイダンス値範囲を超えた用量（塩化ストロンチウムとして145 mg/kg/day）で病理組織学的に影響は認められなかった（IRIS（2002））。したがって、経口経路では区分外相当となるが、他経路についてはデータがなく、影響が不明のため、特定標的臓器毒性（反復ばく露）の分類として「分類できない」とした。
吸引性呼吸器有害性	データなし。
12. 環境影響情報（無水物として）	
生態毒性	急性：甲殻類（オオミジンコ）の48時間EC ₅₀ = 125 mg/L（AQUIRE, 2011）から区分外とした。 長期間：急性毒性区分外であり、難水溶性ではない（溶解度 = 547 g/L（NITE初期リスク評価書, 2010））ことから区分外とした。
残留性・分解性	該当情報なし。
生体蓄積性	該当情報なし。
土壤中の移動性	該当情報なし。
オゾン層への有害性	当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、または地方公共団体が廃棄物処理を行っている場合はそこに委託して処理する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国際規制	
国連番号	該当しない。

品名(国連輸送名)	—
国連分類	—
容器等級	—
国内規制	
陸上輸送	該当情報なし。
海上輸送	該当情報なし。
航空輸送	該当情報なし。
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
応急措置指針番号	—
15. 適用法令	
化学物質管理促進法(PRTR法)	該当しない。
毒物及び劇物取締法	該当しない。
消防法	該当しない。
労働安全衛生法	名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施行令別表9]に該当しない。
16. その他の情報	
参考文献	NITE-CHRIP (製品評価技術基盤機構HP) 職場のあんぜんサイト (厚労省HP) NITE-GHS分類結果 (製品評価技術基盤機構HP) 17423の化学商品 (化学工業日報社) Merck Index 14th The Sigma-Aldrich Library of REGULATORY and Safety Data
	記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。